

7 7 英語分野 日本学術振興会講演会

「東ヒマラヤにおける農業生物多様性保全に関する研究：

伝統的な在来知識と持続的生活の視点から」

"Biodiversity Conservation in the cultural Landscapes of the Eastern Himalaya"

(1) 目標

1年間、英語を通して理科を勉強してきた成果をさらに高めるために、日本で研究されている外国の研究者の講演を聴き海外にも目を向け視野を広める。

(2) 概要

ア 期 日 平成 19 年 3 月 3 日 (土) 13:00 ~ 14:30

イ 場 所 本校視聴覚室

ウ 参加生徒 普通科 2 年生 25 名

エ 講 師 Ghanashyam Sharma (インド)

京都大学地域研究情報センタ -、国連大学 研究員

オ 日程・内容

(ア) 講義 (13:00 ~ 14:30)

「東ヒマラヤにおける農業生物多様性保全に関する研究」



講演会の様子 1

事前に講師の略歴・研究分野について、プリント 1 枚レジメを配布。パワー - ポイントを駆使し、「地球の屋根」と呼ばれるシッキム王国の野生の動植物の生態を英語で説明していただいた。やや難解な専門用語もありインド訛りの発音であったが、生徒は熱心に聞いていた。日本の援助(寄付)で立てられた寺院、大豆を発酵させた日本の納豆に似た食べ物等身近な話題も多く理解しやすい内容であった。

(イ) 質疑応答

質問する生徒が多く、講師の Sharma さんからの質問もあり、予定の時間を超えて 3 時過ぎまで 1 時間以上生徒講師の interaction が続いた。とても有意義であった。

ウ 事後指導

当日の質疑応答後、アンケートを実施、生徒の意見、感想を集約した。

エ 成果と反省

日本学術振興会 高田尚江様のご協力でご実現したのだが、なかなか連絡に手間取り、また講師と学校の都合を調整するのに時間がかかった。講義については、事前に講師の研究内容分野についてのプリントは配付できたが、専門用語の学習まではできなかった。同行された京都大学教授、田中耕治氏の通訳を通して生徒はより具体的に講演内容を理解することができた。



講演会の様子 2



講演後の記念撮影